

○松沢成文君 松沢でございます。

まず、馳大臣、文科大臣御就任おめでとうございます。大臣はスポーツマンでありまして、正義感が強い、改革心があるということで私も心から期待をしております。

私はこの委員会で、東京オリンピックの準備の問題点について何度か質問させていただきました。下村大臣にも国立競技場、新国立建設の問題点についてもただしまして、あと、私が今関心を持っているのは、問題提起しているのは、オリンピックのゴルフ会場の選定の問題なんです。下村大臣にもこの問題質問しましたが、新国立の問題で頭がいっぱいでしたから、なかなか前向きに取り組んでいただけませんでした。そこで、正義感が強い馳大臣にこの改革をお願いしたいと思い、今日は再度質問させていただきます。

まず、大臣、大臣スポーツマンですが、大臣はゴルフをやられますでしょうか。そして、やられるとしたら、今会場に決まっている霞ヶ関カンツリー倶楽部と東京都営の若洲ゴルフリンクス、こういうゴルフ場でプレーをしたことがありますでしょうか。

○国務大臣（馳浩君） 私、ゴルフ大好きです。そして、プロレスラーの頃に、スポンサーとのお付き合いもありますので、坂口征二さんから御指導を受けながら打ちっ放しに行つてというふうな具合で始めて、もう二十四、五年になると思っておりますが、いまだに百を切ったことはありません。

今お尋ねの若洲にしても霞ヶ関にしても、私は残念ながら行ったことはございません。

○松沢成文君 ゴルフをプレーするというので何となく議論はかみ合うんじゃないかと思っております。

大臣並びに委員の皆さん、私の作った資料をちょっと見ていただきたいと思うんです。

実は、オリンピックのゴルフ競技は、霞ヶ関カンツリー倶楽部で決定をしております、I O Cも含めて。ただ、私は、余りにも問題が多い、今からでも見直さなければならぬと思っております。そして、霞ヶ関でなく、東京都営のパブリックコース、若洲ゴルフリンクスというのがある、こちらでやる方がオリンピックを成功させるためには

もう望ましいというふうに思っておりまして、この比較表を作らせていただきました。ただ、これ、私が都合よく勝手に作ったのではなくて、ゴルフ改革会議というゴルフ関係者の皆さんも集まった会議の皆さんと調査をし、作った表なんですね。

まず、大臣、見てください。オリンピックは、コンパクト五輪というのをコンセプトに、できるだけ選手村から近くで競技場があって、選手の移動や観客の移動に負担を掛けないというコンセプトでいろいろ会場の設定も進められました。

さあ、霞ヶ関カンツリー倶楽部、都心からめっちゃくちゃ遠いです。私は、一時間といっても、一時間じゃいけないと思う。というのは、ギャラリーも一緒にどおっと車で行きますからね。渋滞に巻き込まれると一時間半、もっと掛かるかもしれない。そして、公共交通も十分ではないし、道路整備も、関越からは一車線道路ですから渋滞になったら動きません。

一方、若洲ゴルフリンクス、これは選手村から四キロの距離です。これ、自動車じゃなくてゴルフカートでだって行けちゃいますよ。それから、東京駅あるいは品川駅、羽田空港から車で十五分。もうコンパクト五輪そのものですよね。選手に負担を掛けないコンパクト五輪という意味でどちらのコースが望ましいと思いますか。

[○国務大臣（馳浩君）](#) どちらのコースが良いかどうかはこれは総合的な判断ですが、近いか遠いかといえば若洲の方が近いに決まっています。

以上です。

[○松沢成文君](#) さて、東京オリンピックは、七月の下旬から八月の月上旬、日本でも最も蒸し暑い時期に行われますね。三十五度というのも今年の場合は何日もありました、この間に。

さあ、日本で一番暑い季節。で、オリンピックの競技で、外でしかできなくて、一番長い時間いるスポーツ何かと聞くと、大抵の人は、えっ、マラソンかなという人もいます。冗談じゃありません。ゴルフです。マラソンは二時間半で全部終わっちゃいます。ゴルフは、その前の練習から含めて見ると五時間、六時間です。外ですね。灼熱の埼玉県。埼玉県というのは日本で最も気温が高いところ、三十五度行く。芝生の上は四十度、体感気温。これが霞ヶ関の実態。霞ヶ関の隣の東京倶楽部というゴルフコースは、八月の月上旬休みにしますから、暑くてできないという理由で。その時期にやるわけです。若洲は東京湾のど真ん中。海風が吹きます。まず、温度としても四度ぐらい低い。風

が吹けば体感温度はもっと低い。恐らく霞ヶ関より五度、六度低い。こういうところでプレーができるんですね。

さあ、これ、アスリートファーストというのが東京五輪のこれまたコンセプト。選手の負担という意味で、あるいは観客、ギャラリーの負担という意味で、どちらの気象条件がオリンピックの会場として望ましいと思いますか。

**○国務大臣（馳浩君）** 私、地元選挙区に帰る、羽田から飛行機が離陸する、また帰ってくる着陸のときに、上からいつも若洲のゴルフ場を眺めて、一回あそこでやってみたいなと思って見ておりますが、そんなに広くないですよ。そして、上から見て思うんですけども、木陰も余りたくさんございません。それを考えると、一概に暑さとか直射日光の問題だけで論じるのはちょっと難しいのかなと思っています。

というのは、やっぱり木陰が必要です。これは、選手もそうですし、観客もそうですし、それから運営する側にとってみれば、オリンピックの場合には縦、横、斜めで撮影しなければいけないんですね。その場所の設定などを考えると、なかなか狭い、ちょっと細長いですよ。アップダウンも少ないですよ。私は一度あその海風と闘いながらゴルフをしたいとは思っておりますけれども、競技者あるいは競技場として考えたときに、一概に暑さだけで論じるのはちょっと難しいのかなと思っています。

**○松沢成文君** コース設定についてはこれから私も説明しますが、まずオリンピックで一番気を付けなきゃいけないのは、暑さで、熱射病で救急車で運ばれる、あるいはその挙げ句死者が出るという危険性なんです。これ、一番大事だと言っても過言ではありません。これもう霞ヶ関は確実にそうなりますよ。よくマラソンだって、今噴霧して、霧で温度を下げなきゃいけない。五時にスタートになきゃ暑くてたまらないだろうって。霞ヶ関、昼、ゴルフやってください、八月上旬。恐らく、極端な言い方ですが、熱中症、熱射病で何人も病院に運ばれて、死者が出る可能性もゼロじゃない。これを選ぶんですかということ。大前提です。

さあ、大臣、広さのことを言いました。で、木陰のことを言いました。これ、視察していないからです。私、視察しています。今、若洲もできて二十数年、木がどんどん大きくなって、木陰たくさんあるんです。霞ヶ関に全然負けません。こんな小さな木だけじゃないんです。こんな木ができています、もう二十数年たっていますから。木陰あり

ます。

それから広さも、十八ホールですが、これはでもオリンピックの条件は三十六ホールじゃないんですよ。十八ホールでよろしいと。それで、クラブハウスの周りに広さもあって、で、周りに広場がありますから、駐車場や練習場も置けます。広さも問題ないんです。

ゴルフのプロが見ても、コース改修も含めて若洲でも十分できると言っている。むしろ若洲の方が霞ヶ関よりやりやすいと。霞ヶ関、ツングリーンをワングリーンにしなきゃいけないから。大変な工事ですよ、これ。今工事に入ったって言いますけど。そういうコース設定でもほとんど両者は対等。

ここで見るように、まず会場へのアクセス、霞ヶ関、バッテン、若洲は合格。あるいは気象条件、霞ヶ関は大バツ、そして若洲ゴルフリンクスは夏でもやっぱり三角ですね。コース設定はほぼ同等。環境対応アピール。若洲はごみの島です。それを埋め立ててやっています。例えば、私の発案ですが、そこに太陽光や風力の施設も造って、それを充電して、発電して充電して、ナイター設備を造って、その充電した電気で、自然エネルギーでナイターでもしゴルフができれば、七時スタートで十一時に終わると。そうなったら暑さ対策にもなるんです。そして、これは時差を縮めますから、ヨーロッパやアメリカに高い放映権も売れます。これこそ環境アピール、日本がやるオリンピックで、これだけ環境対応もやってすばらしいゴルフ会場を造ったと、これがレガシーになるんですよ。霞ヶ関じゃ、ぼったばた人が倒れるだけです。大臣、本当にこうなりますよ、強行すると。

それで、アスリートファースト、ギャラリーファースト、霞ヶ関は酷暑、遠隔地、宿泊施設周りになし。ゴルフは全員プロです、今度来るのは。四十名、トッププロも来ます。マキロイも来るでしょう。こういう人たちは高級ホテルに泊まるんです。自動車で行くしかないんです。もう二時間も掛けて渋滞の中行かされて、三十五度、四十度の中でゴルフをやらされる、もうこんな国二度と来たくない、これは大変なことになりますよ。

どう見ても、この表を見ても、教育用語で言うと、こっち合格って言うんですよ、丸ばっかりですから。こっち不合格って言うんです。それなのに、ある一部のゴルフ関係者が自分たちで議論を引っ張って、そして、国民議論には全くせずに、情報公開をせずに、とにかく霞ヶ関の名を上げようと、日本のゴルフ場といたらこんなにすばらしい霞ヶ関があるんだということを世界に知らしめたい、私は、そういう

エゴで無理やりプライベートコースの霞ヶ関に持っていつているんです。

大臣、リオデジャネイロは、最初プライベートコースで決めたんですけど、これじゃレガシーにならないと、その後一般の国民がやりたくてもできないと、公金も投入するのにプライベートの施設じゃその価値があるのかということで、つまりレガシーにならないからパブリックコースに変えたんです。パブリックコースなかったのに、今造っているんですよ。いまだに造っています、リオは、来年始まるのに。それでも、レガシーにならないからプライベートは駄目だということでパブリックに変えた。

日本は、パブリックコースの若洲で最初の申請ファイルを出しているんです。それなのに、次の表を見てください、二〇二〇東京招致委員会の条件、これで、無理やり霞ヶ関を上げて若洲を落とすために、一部のゴルフ関係者が勝手に条件を付けて自分たちの考えている霞ヶ関に無理やり持っていつているんですよ。

まず、JGFのデザイン基準、これが国際的なゴルフ連盟がゴルフの競技に要求する、ある意味での条件なんです。(発言する者あり) あっ、IGFね。これは、競技エリア、これぐらいの長さは必要ですよ、観客スペースこうですよ、書いてあるんです。これは霞ヶ関でも若洲でも対応可能なんです、これは、多少の修復をすれば。

ところが、日本のゴルフの一部の利害関係者が二〇二〇東京招致委員会というのをつくって、ここでゴルフ会場を設定しようということですが、国際試合の実績のあるコース、これ、霞ヶ関は五十年以上も前に中村寅吉さんたちがジャパン・カップとかいう、昔一回だけ国際大会をやったことがあるんですよ。それを、うちはあると言うわけですね。若洲はないだろうと、こう来るわけです。

じゃ、プロの大会を何回やったか、そういう大会開催能力があるかということ、実は霞ヶ関は三回しかない。若洲は四回あるんですよ。プロの大会をやって大会開催能力を見ても、本当は若洲で経験があるのに、国際試合がないだろうと、うちは一回あるからうちだと、こう来るんですね。

三十六ホール以上保有するコース、これも国際的な条件にはありません。霞が三十六ホール、若洲が十八ホールだから、うちじゃなきゃ駄目ですねと、こう来るわけですね。

これはひどいですね、晴海から五十キロ以内、一時間以内のコース。ぎりぎり霞ヶ関が入るんですよ、ここに。こんな条件ありますか。も

し気候のことを考えるんだったら軽井沢でやった方が全然いいですよ、ちょっと遠いけれど。

あと、ホールでいいますと、ブラジルのリオデジャネイロの今造っているゴルフコースは十八ホールですからね。三十六ホールなんか要求していないんですよ。

こうやって、ゴルフの一部の利害関係者が、国民に情報公開せずに、自分たちの利害、つまり霞ヶ関をコースにしたいということで、どんどん勝手に条件付けて結論出して、この会議で決定したからこれでいくよ、それにどういうわけか組織委員会とか日本のJOCも、ああ、皆さんで決めたんだからいいですねとなって、それで国際組織の国際ゴルフ連盟やIOCにもオーケー取って、はい、決めちゃいましたと言うんですよ。これ、全くもって選定過程が不透明ですよ。

さあ大臣、正義感のある大臣です、こんな間違いを強行させちゃいけません。まず、この東京招致委員会の会合を四回やっています。その議事録、それをきっちりと要請して、取得していただいて、この委員会に提案してほしいんです。こんなめちゃくちゃな条件を勝手に付けて、国際的な条件は十分クリアしているのに、もうこのゴルフ場に落としたいからという条件で、もう強引に霞ヶ関に決めているわけです。強引に若洲を落としているわけですよ。

さあ大臣、本当にオリンピックを成功させたいのであれば、ゴルフの会場は霞ヶ関でやったら大失敗します。これは良識のあるゴルフ関係者もみんな危機感持っているんです。大臣、霞ヶ関の会員が、私、この前この問題を取り上げたら、それを見て三名の会員から連絡があって、松沢さんの言うとおりで、霞でこんなことをやったらもうめちゃくちゃになるよ、ゴルフはと。どうにか頑張ってくれと、霞ヶ関の会員の中から声が上がっているんですよ。

さあ大臣、ここまで来ています。大臣は議事録を要請して、きちっと選定過程をもう一回チェックし直していただけますでしょうか。

○国務大臣（馳浩君） 松沢委員のやっぱりこれまでの勉強、調査、そして実態を見ながらこういうふうな比較表をお作りになって御指摘いただいていることについては、これは敬意を表したいと思います。と同時に、私の立場で今回の選定について調査をし直したりとか、議事録を要請したりということはするつもりは全くございません。

というのは、まさしくオリンピックを開催するのは東京都でありますし、同時に運営に関して、また競技場等について組織委員会が調整することになっております。そして、その競技会場については当然、

我が日本の日本ゴルフ協会と、国際的な、いわゆる I F といいますけれども、国際連盟と協議の上で、組織委員会とも連携の上で、同時に J O C とも情報を共有しながら最終的に決定をさせていただいているというふうに思っておりますので、その今申し上げたような関係者が条件を詰めて総合的な判断をされたことについて、私の方から蒸し返すようなことはいたしません。

同時に、とはいうものの、おっしゃるように、暑さ対策あるいは選手やギャラリー、それからマスコミ等も含めた、やっぱりこの距離間をいかにして円滑に行うのかという輸送の問題、宿泊の問題等を含めて、当然オリンピックの開催に向けてより良い環境となるように努力をし続けることは必要でありますので、そこはやはり組織委員会に対しても要請をし続ける必要はあると思っています。

**○松沢成文君** 大臣ね、お言葉ですが、新国立競技場問題、なぜ失敗したのか。エンブレムの問題、なぜ失敗したのか。大臣、それじゃ学んでいないですよ。そうなることは二度あることは三度あるになっちゃうんです。大臣には三度目の正直で、しっかりとここは自らが声を上げて改革をしてほしいんです。

下村大臣も同じこと言いました。私がこういう指摘をすると、もう関係者の議論で決まったことですので、まずこれ一つですね。二つ目には、もうプロセス、入札プロセスとか工事のプロセスに入っていますので、だから私からは見直すつもりはありません。でも、世論がどんどん盛り上がってきた、国会質問も出てきた、こんな国立競技場のやり方でどうするんだと。そうしたら、だんだんだんだんびびっちゃって、安倍総理のところ相談に行って、いや、どうしましょう、どうしましょう。で、安倍総理が、分かった、これ、やり直した、白紙撤回するわけでしょう。今回も同じじゃないですか、各団体のプロセスで決まったことなので、もう霞ヶ関は工事が入っちゃっているの見直せません。

大臣ね、リーダーは、オリンピック担当大臣なんですから、リーダーはおかしいと思ったら行動しなきゃいけないですよ。過ちは改むるにはばかりなことなかれという言葉もある。どう見たって、誰が見たって、国民誰に見せたって、国際機関に聞いたって、これはこんなので霞ヶ関で突っ込んだらまずいなって誰でも思いますよ、常識です。それが国民の声です。それを情報を隠蔽して見せないわけだから、私が幾らここで騒いだって、マスコミは全然書いてくれないわけだから。

大臣ね、ここは政治家として正義感を持って、東京都知事、東京都

議会へもう一回行ってくださいよ。都議会だって実は一年前までは、松沢さんの言うとおりと、一緒にやろうと言っていたのに、あるときからぱたっと都議会の声が止まりました。どこかから物すごい圧力が掛かったんですよ。そういうことも調べなきゃ。こんな失敗やっていたらオリンピックはもう成功できませんよ、選定でも。これ、大問題です。

大臣ね、もう一度最後に質問しますが、リオ五輪でもゴルフ会場はプライベートコースで当初決定しました。しかし、それではレガシーにならないということで、パブリックコースをわざわざ現在建設しながら、オリンピックのレガシーのためにということでパブリックコースでやるんですよ。東京五輪では、若洲という東京都所有ですよ、パブリックコースで東京都が持っているんです、それで開催可能なパブリックコースが存在するのに、遠隔地で猛暑の霞ヶ関というプライベートで強行するというのは大きなこれは間違いです。レガシーにもなりません。選手やギャラリーのためにはなりません。

私は、大臣がその中心にいるんですから、オリンピック担当大臣なんだから、しっかり会場はこのままじゃおかしいと決断して、これはIGFやIOCに日本はちょっと選定間違っていたと、こっちでやり直すから頼むと言えれば絶対認めてくれますよ。だって、自転車だって変更したばかりじゃないですか。国際機関はきちっと説明すれば変更を認めるんです。逆に、これをちゃんと説明したら、そのとおりだねって、何今までぼけていたのと言われちゃいますよ。そういうリーダーシップを取るのが私は大臣の務めだと思うし、そういうリーダーシップを取る人がいなければ東京オリンピックは成功できませんよ、もう二度も大失敗しているんだから。大臣の決意をいただきたいと思います。

**○国務大臣（馳浩君）** るる御説明をいただきました。基本的に私は見直すつもりはありません。同時に、松沢委員のお示しいただいている指摘事項といったものをやっぱり重々踏まえた準備を進めていくこと、霞ヶ関カントリー倶楽部ですか、そして日本ゴルフ協会、そしてJOC、なかんずく、最終的に責任を持っているのは東京都と組織委員会でありますので、組織委員会に対してはそういう懸念のないような運営に当たるように改めてお願いをしておきたいと思います。

以上です。

**○松沢成文君** 時間です。ありがとうございました。